

平成30年1月17日

福祉部 福祉政策課
0742-34-5196

県内初の「フードドライブ」を市職員対象に試行

まだ食べられるのに捨てられている食べ物、いわゆる「食品ロス」が日本では年間約632万トンにも上る一方で、子どもの6人に1人が貧困状態にあり、特にひとり親家庭の貧困率は50%を超える現状にあります。

奈良市では、“ともに支え合うまちづくり”を目指し、「食品ロス」を解消しながら、食品を必要としている人々につなぐ架け橋となる「フードドライブ」を県内初の試みとして、職員対象に下記のとおり実施します。

市事業として展開するための課題を探り、今後の展開について検討するための試行として、職員の家庭で余っている食品を集め、県内初のフードバンクであるNPO団体「フードバンク奈良」（平成29年12月に奈良市内に設立）に寄附します。

記

1 日 時 平成30年1月25日（木）～26日（金）
午前9時～午後4時30分

2 場 所 奈良市役所 中央棟2階 第13会議室

3 対 象 奈良市職員

4 提供を求める食品

米（白米、玄米、アルファ米）、パスタ、そうめん等の乾麺、缶詰、レトルト食品、カップ麺、のり、ふりかけ、調味料（醤油、食用油、味噌）、菓子類、飲料（アルコール不可）

※ただし、賞味期限まで1か月以上あるもの、常温で保存できるもの、未開封のもの

5 集まった食品の用途

「フードバンク奈良」から、子ども食堂等に提供。

■フードドライブとは

家庭で余っている食べ物を職場等に持ち寄り、それらをまとめて、地域の福祉団体や施設、フードバンクに寄付する活動。

■フードバンクとは

「食料銀行」を意味する社会福祉活動で、食品関連企業や量販店、農家、個人等から賞味期限内でまだ食べられるにもかかわらず商品として流通できなくなった食品の寄贈を無償で受け、食べ物に困っている人や施設等に無償で配布するもの。